

梨木建夫君 先週の約束通りです。

羽賀一夫君 精進中に付肉の入ったカレーライスは食べられません。あしからず

卓 話： 「分区代理から見た栗山年度」 梨本清一さん



「まことの幸福は人助けから」というテーマをひっさげて、さっそうと登場した栗山年度もやがてその幕が閉じようとしています。今月の15日、16日前橋で開かれる地区協を区切りに、「行動に信念を、信念は行動に」という新しいテーマで細渕年度に代ります。

我が三条北クラブもファイヤーサイドミーティングを経て、いわゆる「羽賀内閣」がさっそうと誕生する運びです。

私は、本年度は、分区代理という大役をやって参りましたが、高橋会長、村山幹事始め皆様のご協力により、まあまあ滞りなく終わろう

としております。

この一年、分区代理から見た栗山年度を振り返って見たいと思います。

栗山年度は、ひと言で言うところ「ロータリー2560地区革新の年」であったというふうに言い切れると思います。

革命とまでは言いませんが、私の知るかぎり、静かな池に次から次と石を投げ波紋を立たせたガバナーは初めてです。

ロータリーは、前例や慣習に従って、前任行と同じことをやっておればよいといった雰囲気があります。その中であって栗山さんは、勇気を持って色々な提案をされたガバナーだったと思います。その主な提案は次のようなものです。

- ①IMは各分区毎に行なう
- ②分区の再編成
- ③地区大会全員登録の呼びかけ
- ④21世紀委員会
- ⑤30人以下のメンバーのクラブを集めたサンショの会
- ⑥韓国に1,000万円相当の図書を寄贈
- ⑦新潟と群馬と地区分割をする

このうち①②は出来ませんでした。③は50%以上ということで妥協しました。⑤のサンショの会は、とすると萎縮しがちな小さなクラブにやる気を与えました。又、世間からはあまり注目されませんでしたが、⑥の韓国に図書を寄贈したということは、ガバナーが国際感覚豊かな経済人だと、私は大きに感心いたしました。⑦の地区分割の初年度としての位置付けは、栗山年度の提案の中で最も重要なものです。そのために今年は⑧新潟と群馬の姉妹クラブの締結と⑨クラブ拡大が行なわれました。

⑧姉妹クラブ

- 確定 ○新潟東と高崎北
" ○雪国魚沼と前橋東
準備中 ○村上と桐生南
" ○新潟南と高崎南
" ○新発田と沼田

これは分割後も新潟と群馬の交流を存続しようとの配慮です。

⑧クラブ拡大

○新潟中央RC

- スポンサー 新潟北RC
- 認承式 6月19日
- 会長 泉谷さん
- 会員 46名（会長以外は全員新人）
- 例会日 火曜日

○新潟万代RC

- スポンサー 新潟西
- 特別代表 神成さん
- 夜間クラブ （2560地区初）

○新発田地区

- スポンサー 新潟城南
- 特別代表 岸さん

○小出地区

- スポンサー 雪国魚沼

○上越地区

- スポンサー 高田東

以上の他第4分区内では加茂クラブがスポンサーで田上に作るのが最も有力です。

来年私は拡大委員であり、この第4分区会で秘かに狙っているのが、私たち三条北がスポンサーになって栄町にクラブを作ることです。

三条北の10周年の記念に皆さんいかがでしょうか。

なぜ地区分割のためにクラブ拡大が必要かというと、RIの規則に「1地区は40クラブ以上で会員が1200名以上必要」という規定があるからです。

我が2560地区は、現在新潟は4クラブ2695名、群馬が36クラブ2531名ですので、分割のためには群馬の奮闘が待たれるわけです。

分割のメリットは次のようなものがあります。

④クラブの活性化＝ロータリーの活性化